

石川塾の国語教育～読解力・要旨要約・作文力～

●高校・大学受験は推薦入試が主流！作文力がカギ！●

●大学入試共通テスト！国語の24,060字を読解する力●

中学入試でも、高校入試でも、大学入試でも、合格を勝ち取るには作文力が重要です。会社の入社試験でも、社会に出てからも、文章力はずっと必要とされます。現在、高校入試、大学入試の半数以上が推薦型の入試を利用しており、その対策は必須！書き方のコツをつかんできちんと練習することが大切です！
2023年度大学入試共通テストの国語の文字数は約24,060文字で、原稿用紙60枚分です。社会の地理B、現代社会以外の教科も問題の文字数が増加しています。中学受験も、高校受験も同様の傾向にあります。時間内に要旨を押さえながら読み解答するためには、要旨要約の訓練が必要です！

■齋藤孝の4つの書くコース■

●『齋藤孝のイッキによめる！名作選』全7冊(講談社)

☆「速読&クイズに挑戦」(全7冊:1冊修了ごと修了証&100ポイント進呈)

●『読解力がグングンのびる！齋藤孝のゼッタイこれだけ！名作教室』全10冊(朝日新聞出版)

☆「好きな文章ベスト3」(1冊修了ごと修了証&100ポイント進呈)

●『理想の国語教科書』(齋藤孝/文藝春秋) ※青版/赤版/緑版

☆一話ずつ読んで一番大事だと思う箇所に桃色で線を引く。次に一篇をひと言40字程度に「～が～をする話」または「～が～になる話」にまとめる。さらに本文をそのまま抜書きして200字でまとめる(1冊提出毎に1000ポイント進呈)

●『使える!「徒然草」』(齋藤孝/PHP新書)

☆『徒然草』を上達論として読み解く齋藤流の古典活用法が披露された本書。『徒然草』から18の段を取り上げ古典を現代に生かす事例が抱負で受験向きのテキストとして石川塾では活用している。一編を400字詰原稿用紙8枚程度にまとめる。(全18篇提出者に1000ポイント進呈)



■要旨要約テキスト上級編(1冊提出毎に1000ポイント進呈)



- 『調べてみよう、書いてみよう』(最相葉月/講談社)
- 『白川静さんに学ぶ 漢字は楽しい』(小山鉄郎/新潮文庫)
- 『スラムダンクな友情論』(齋藤孝/文藝春秋)
- 『日本の歴史(全7巻)』(渡部昇一/ワック)
- 『夢十夜』(夏目漱石/岩波文庫ほか)
- 『天皇皇后両陛下が受けた特別講義 講書始のご進講』(KADOKAWA)

■個別作文・小論文指導

高校受験、大学受験の推薦入試を利用する生徒に対し、個別に対策指導しています。公立中高一貫校受験対策として、適性検査の作文指導もしています。型を習得し、自身と向き合い自分の言葉で表現できるよう何度も練習します。毎年合格者を出す石川塾の名物授業です！他と差をつける作文が書けるようになります！